

図24 ほうれんそ(メタラキシル) GC/MS

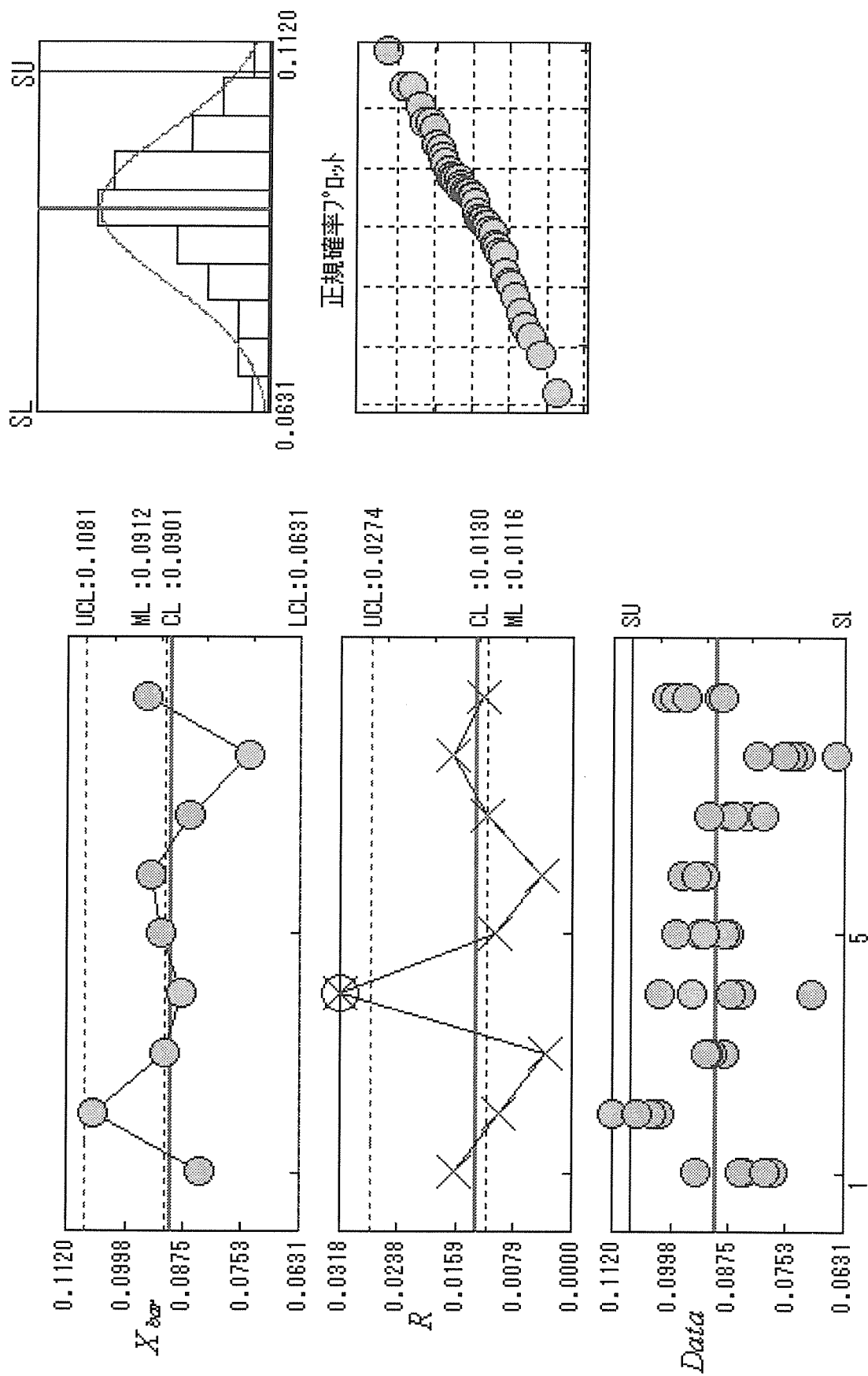


図25 ほうれんそう(メタラキシル) LC/MS/MS

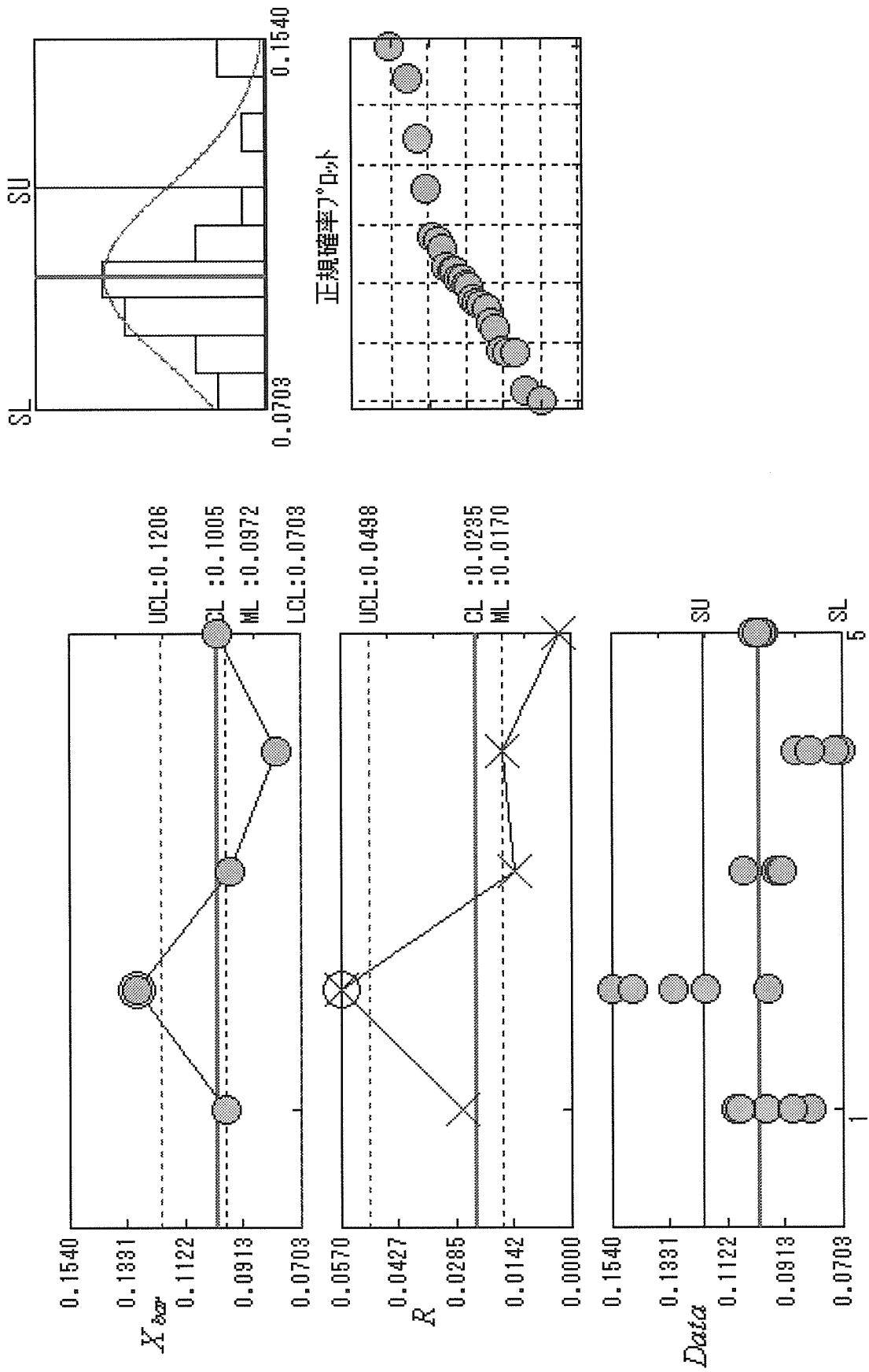


図26 かぼちゃ

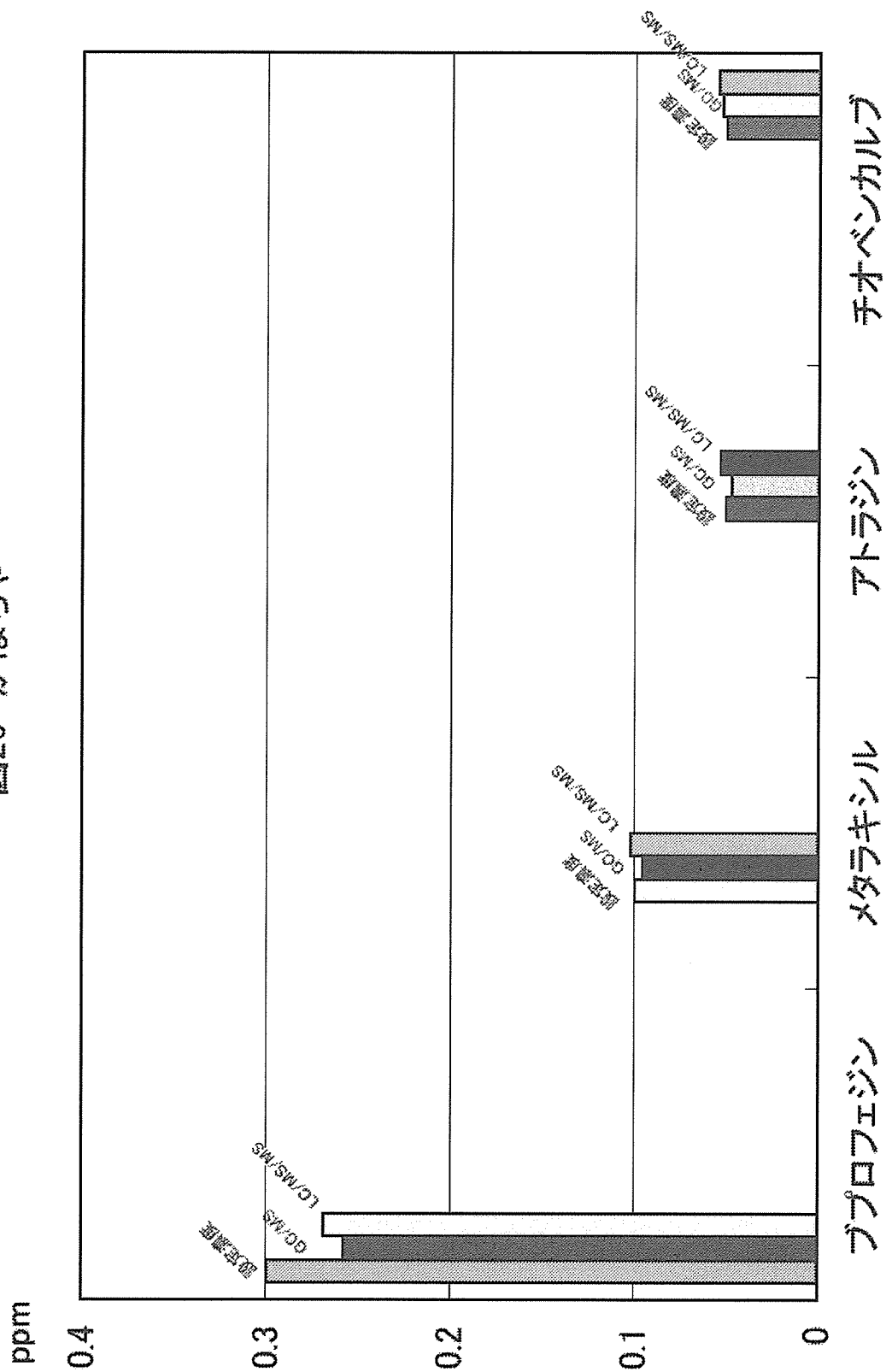


図27 にんじん

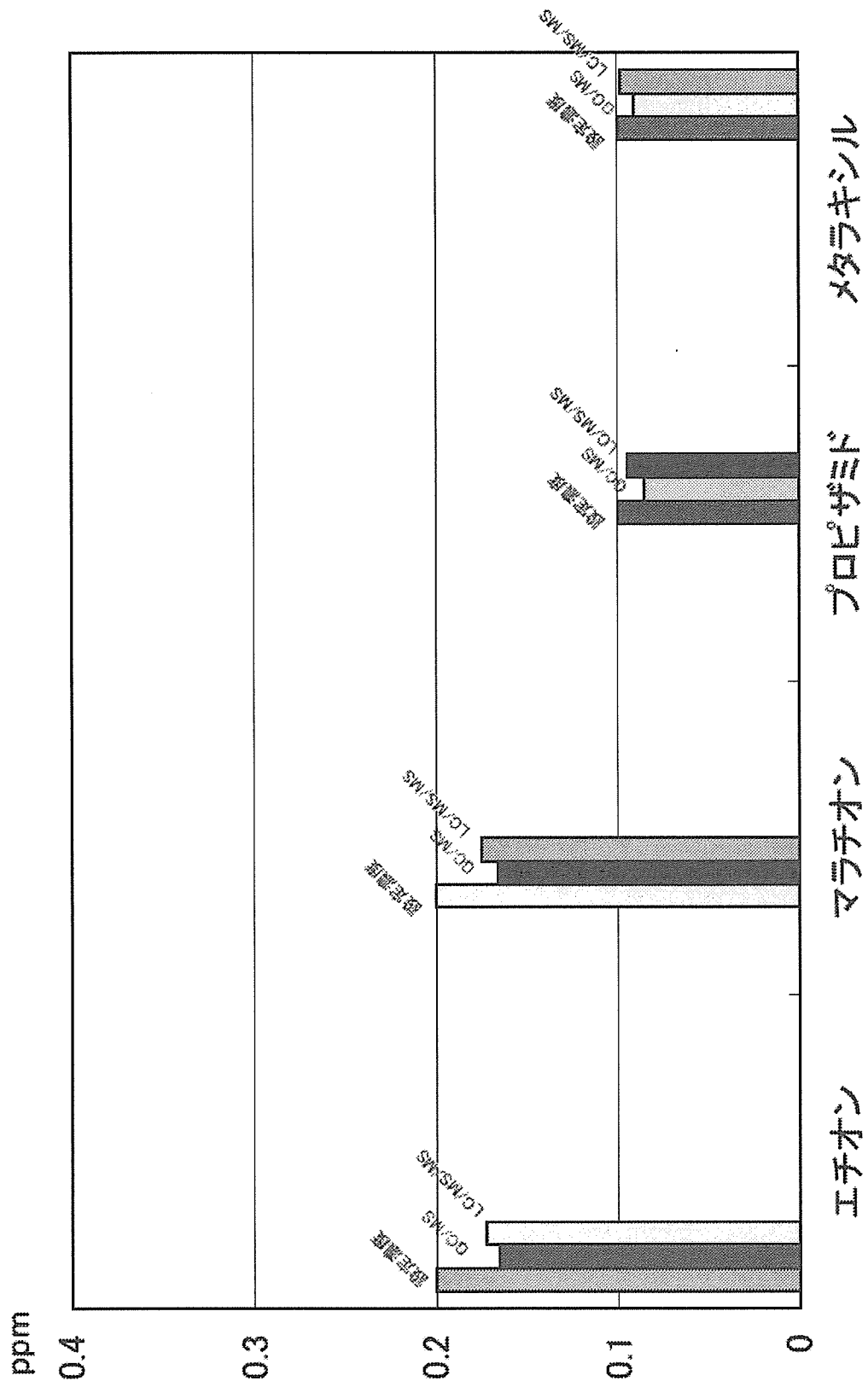


図28 ほうれんそう

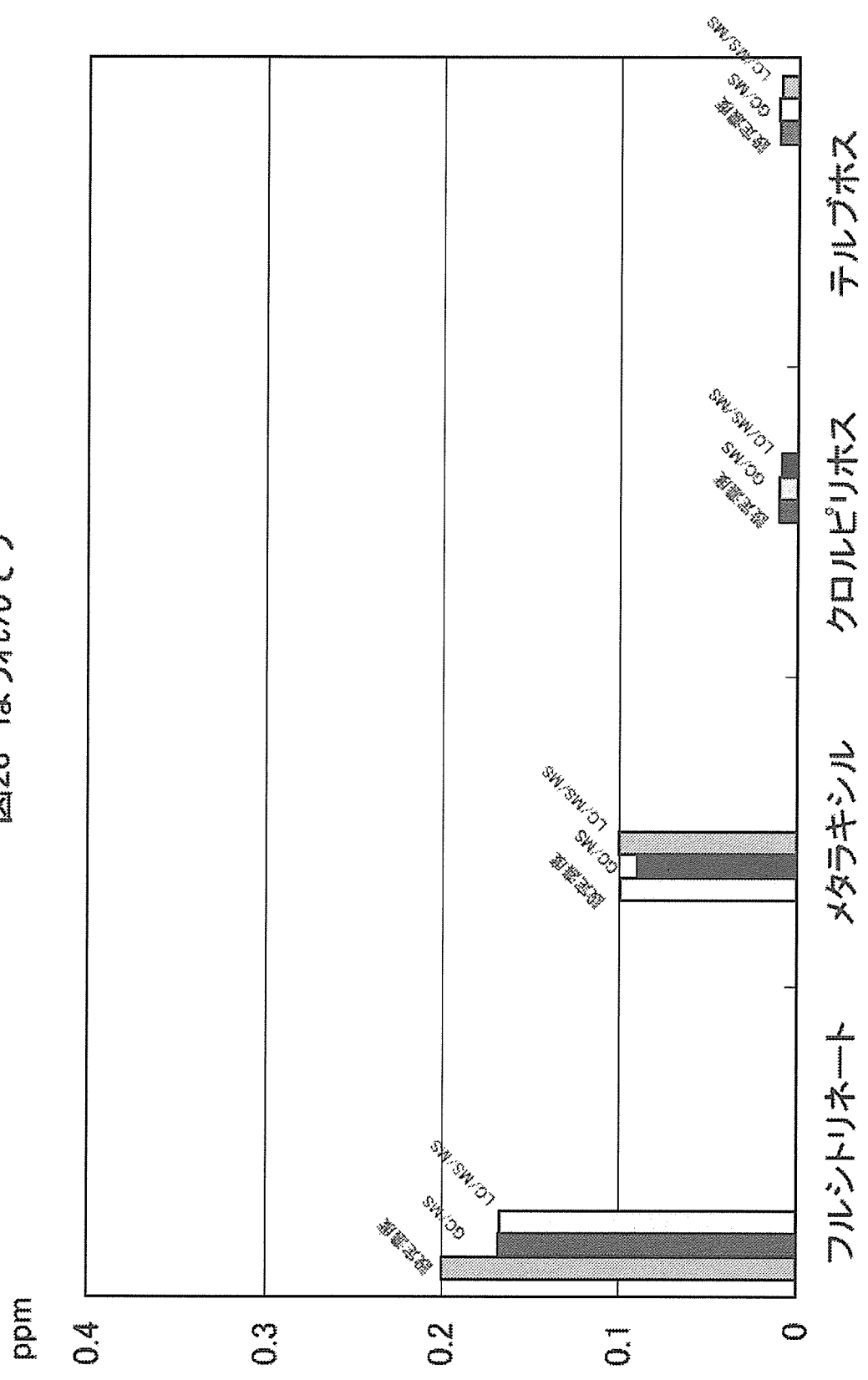


図29 かぼちや

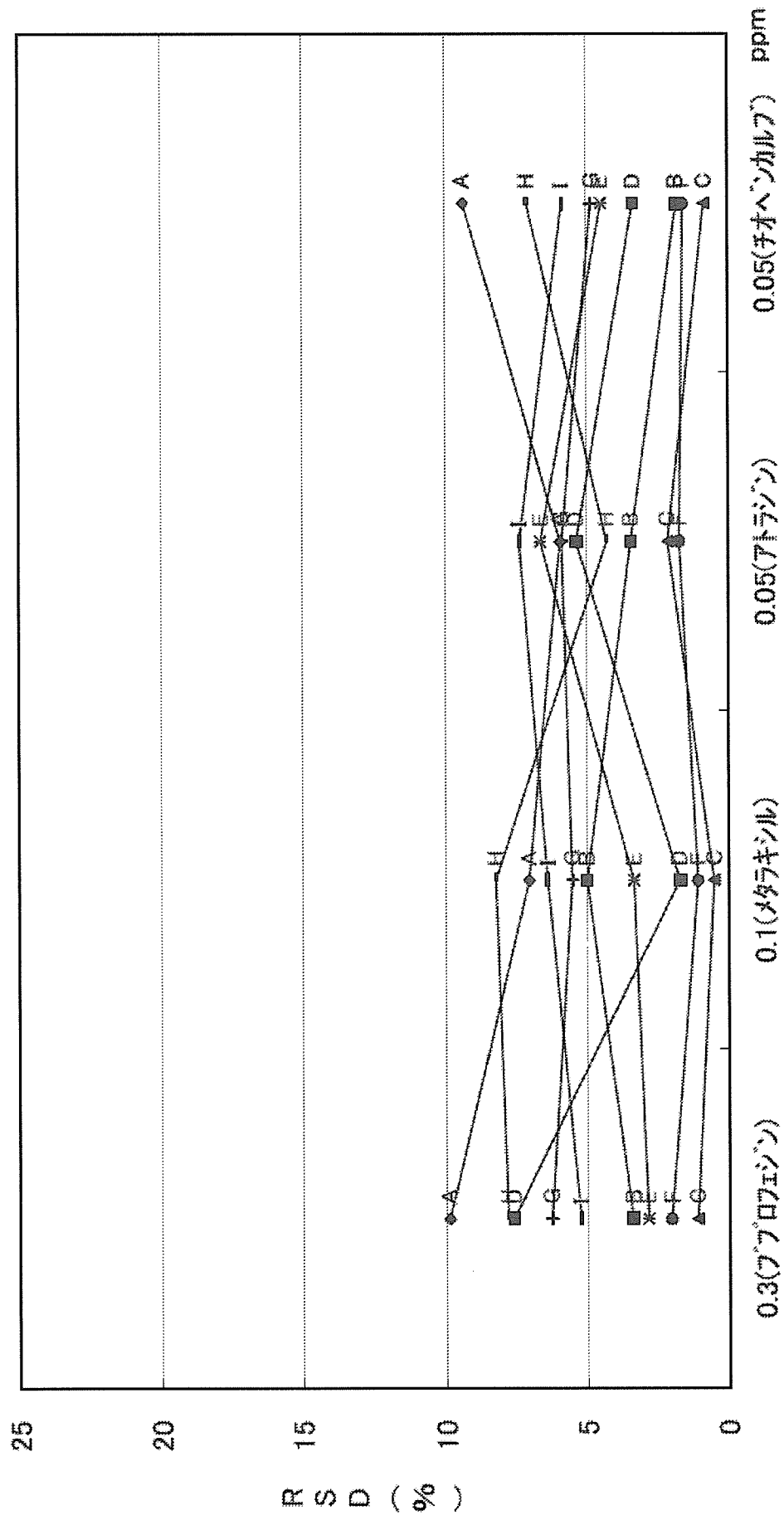


図30 にんじん

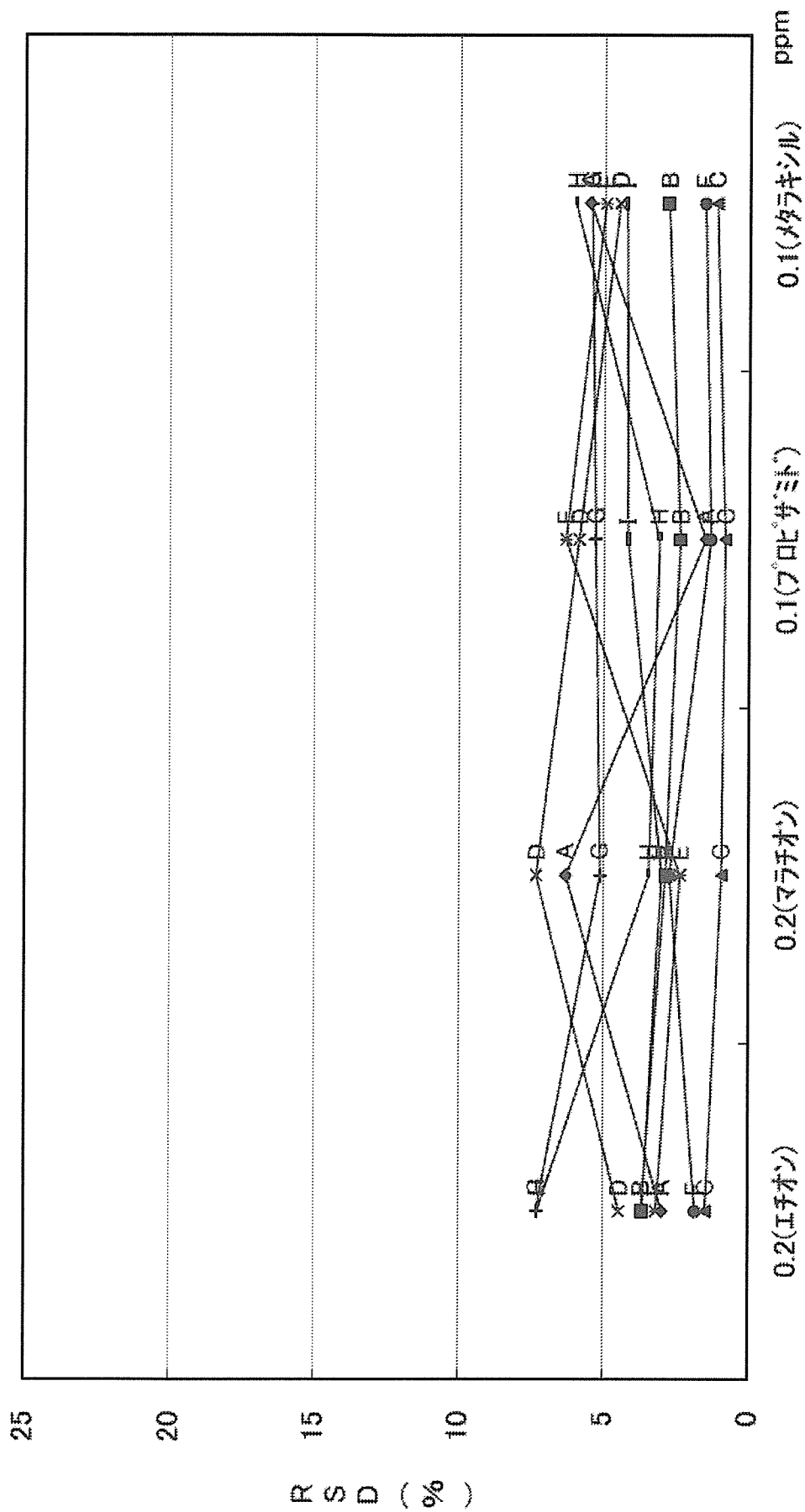


図31 ほうれんそう

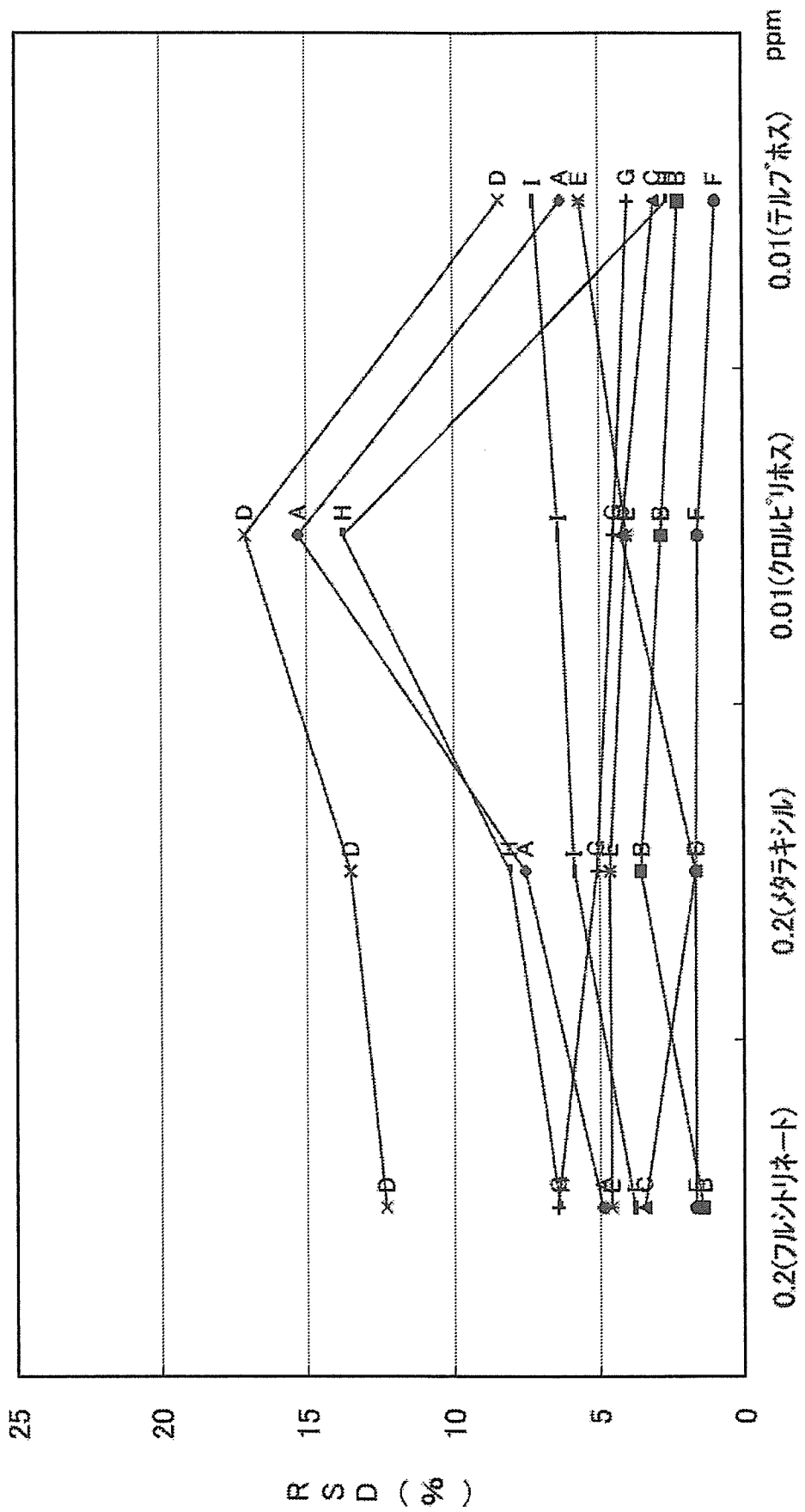


図32 かぼちや

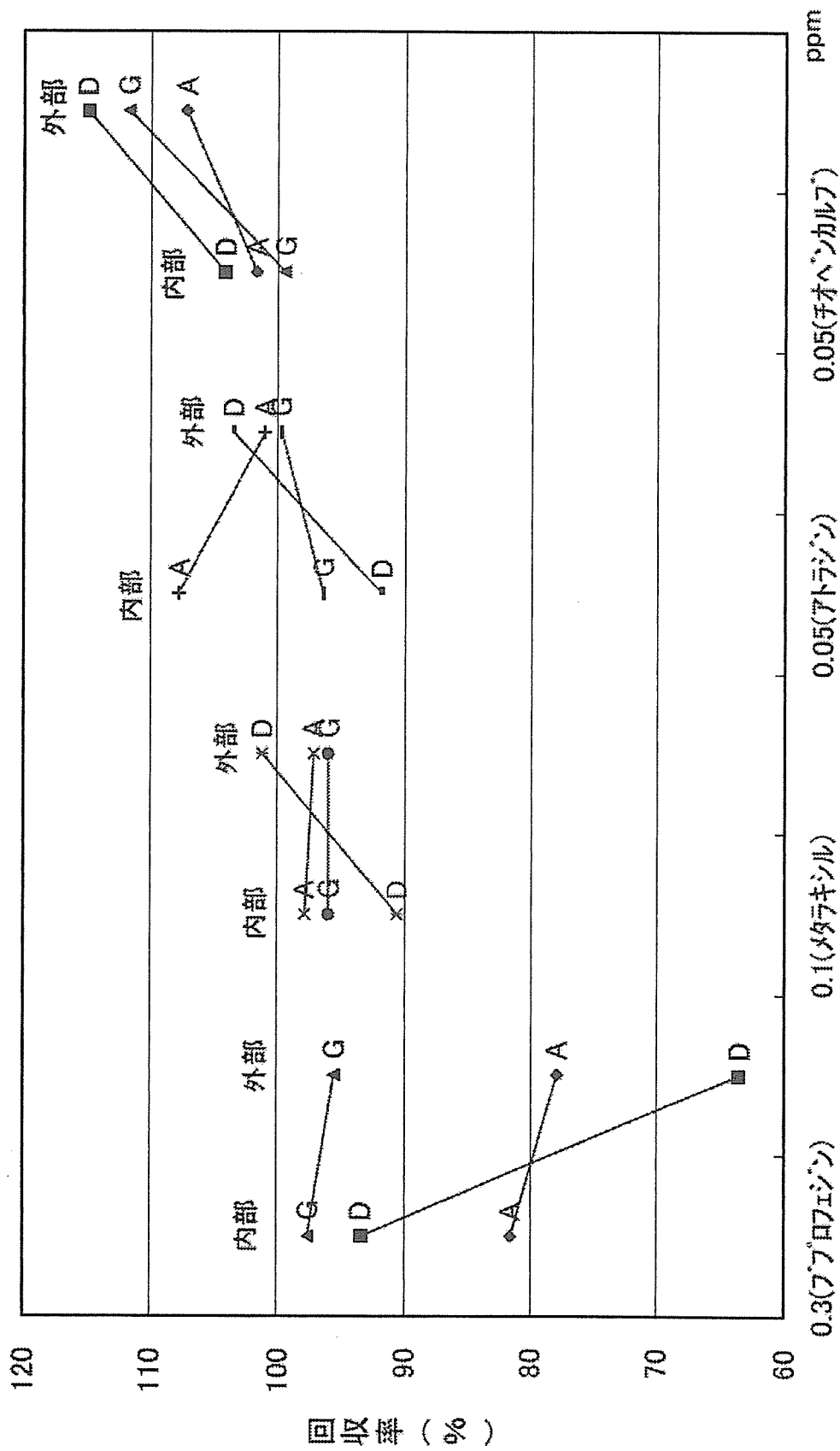


図33 にんじん

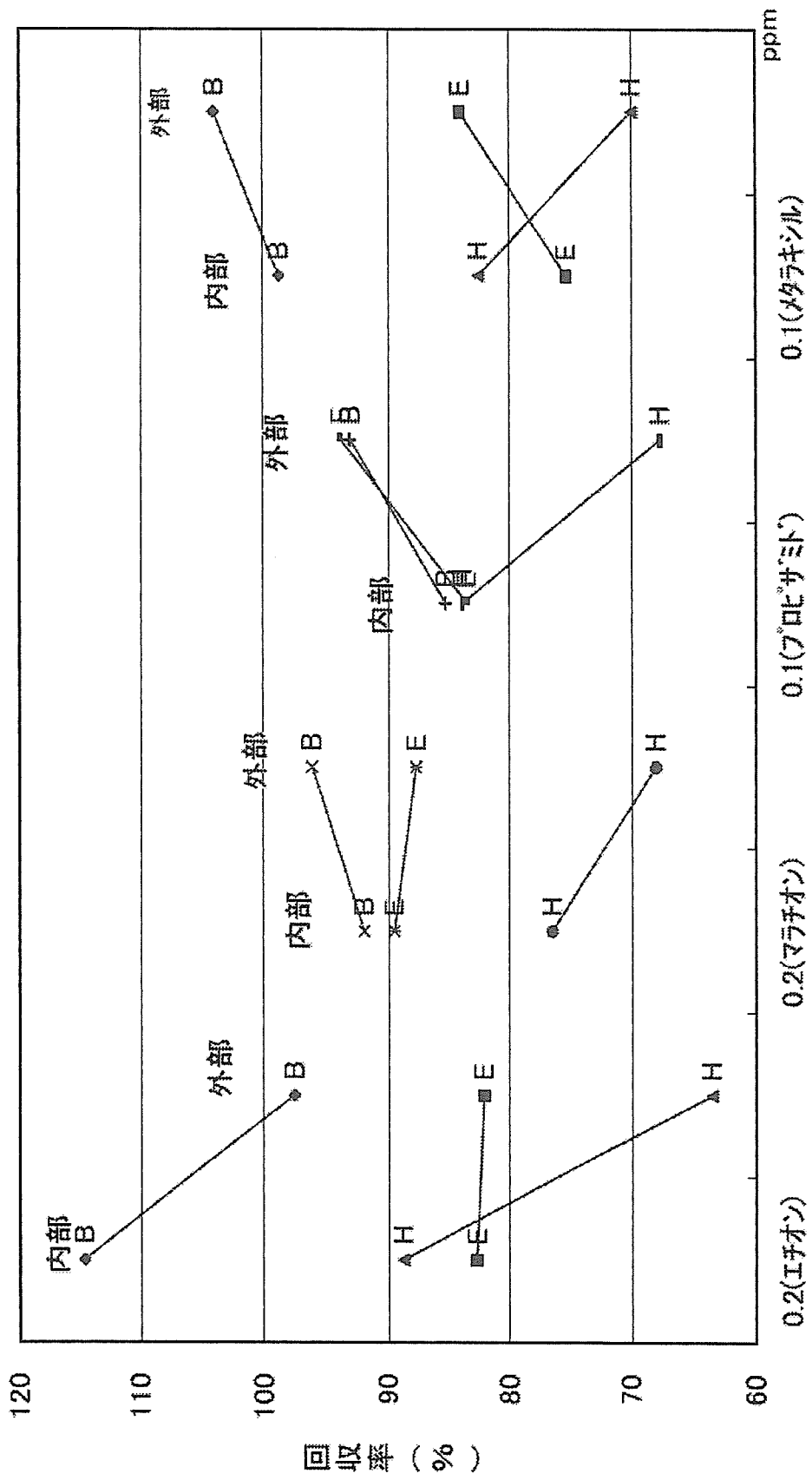


図34 ほうれんぞう

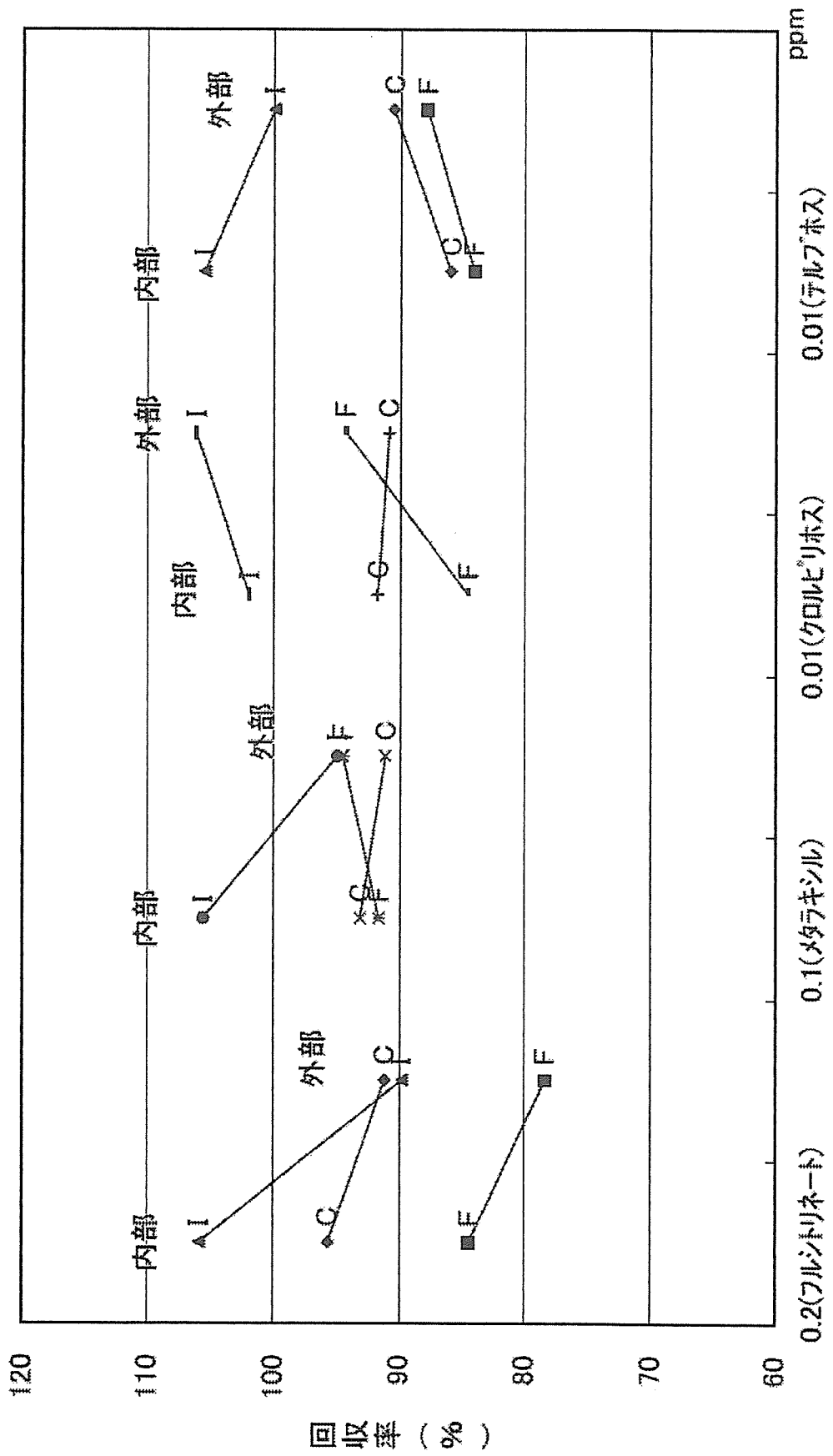
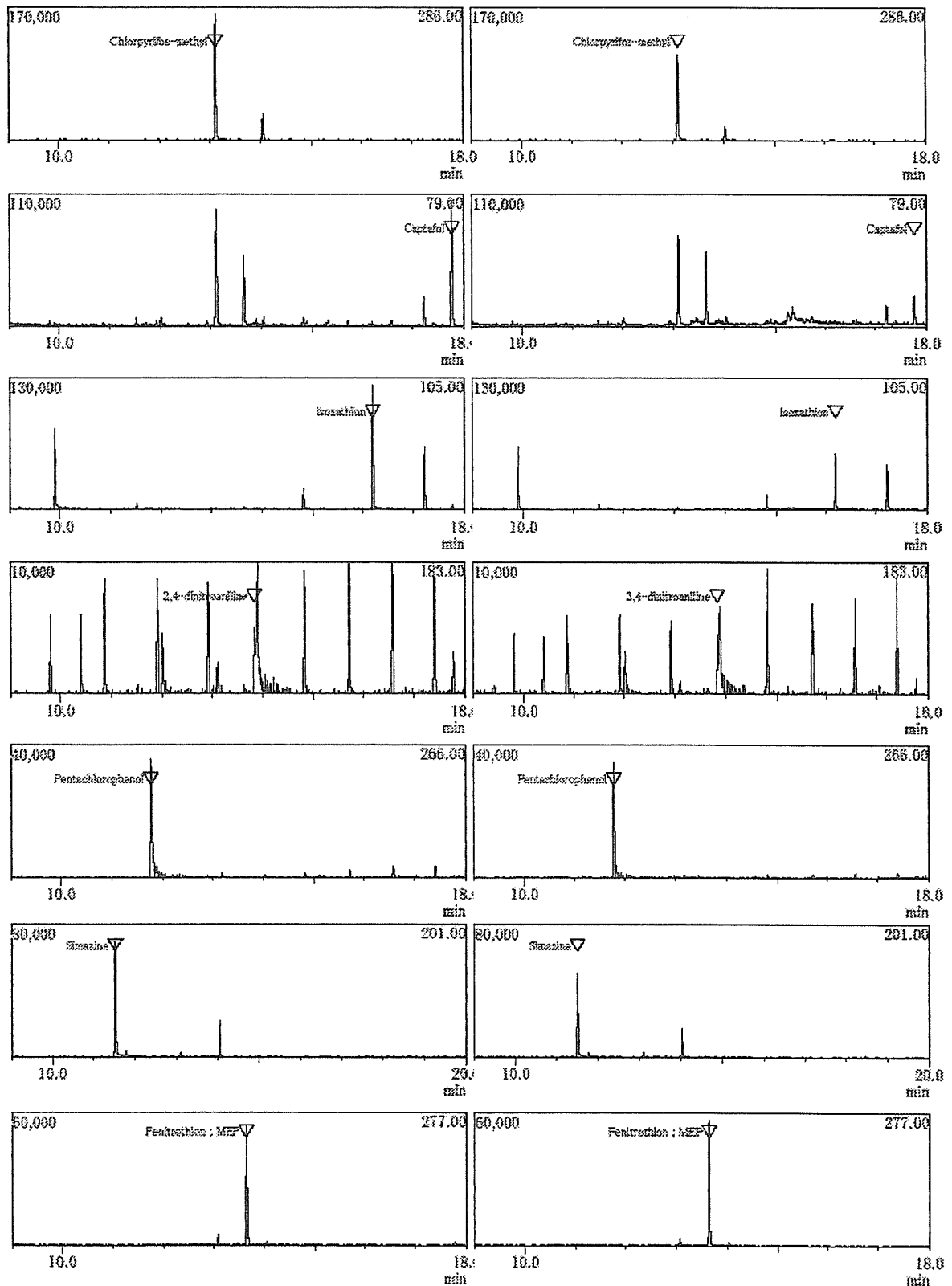


図35 GC/MS性能試験

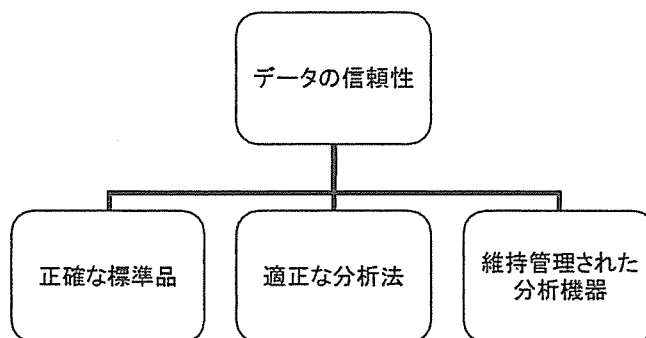
測定前のクロマト

測定後のクロマト



資料1 信頼性確保のための検証

精度管理を維持・向上するためには、“正確な標準品”を用いて“適正な分析法”を実施し“維持管理された分析機器”で測定することによって検査データの信頼性が得られる



正確な標準品

市販の標準溶液を提供、参加協力機関間の標準品を一定にした

農薬混合液31 関東化学(85種類、0.01mg/ml アセトン-ヘキサン溶液1:1)

農薬混合液32 関東化学(57種類、0.01mg/ml アセトン-ヘキサン溶液1:1)

適正な分析法

添加量が既知(known)・未知(unknown)の違いによる分析セット

添加回収(内部精度管理)の実施

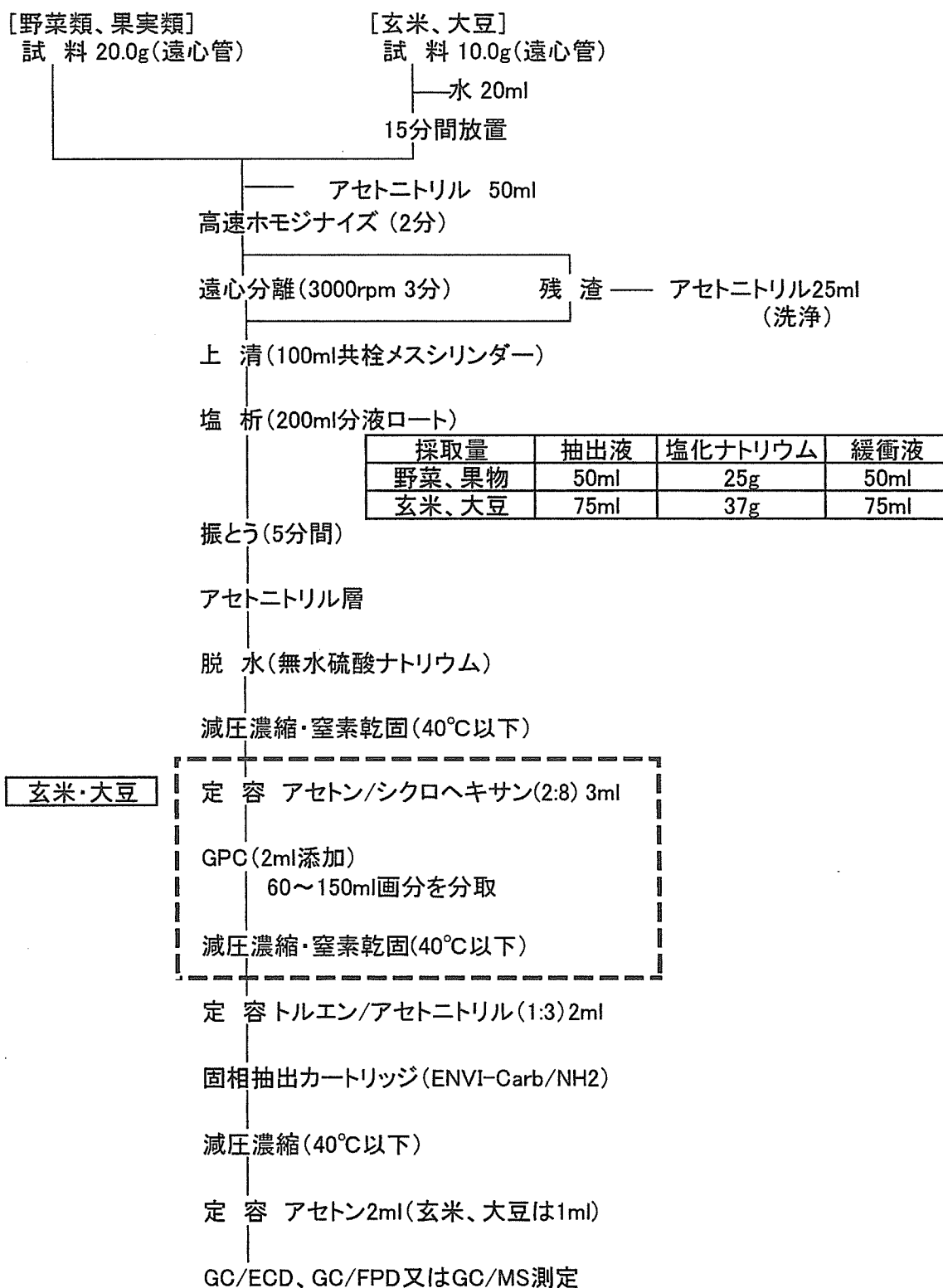
外部精度管理調査

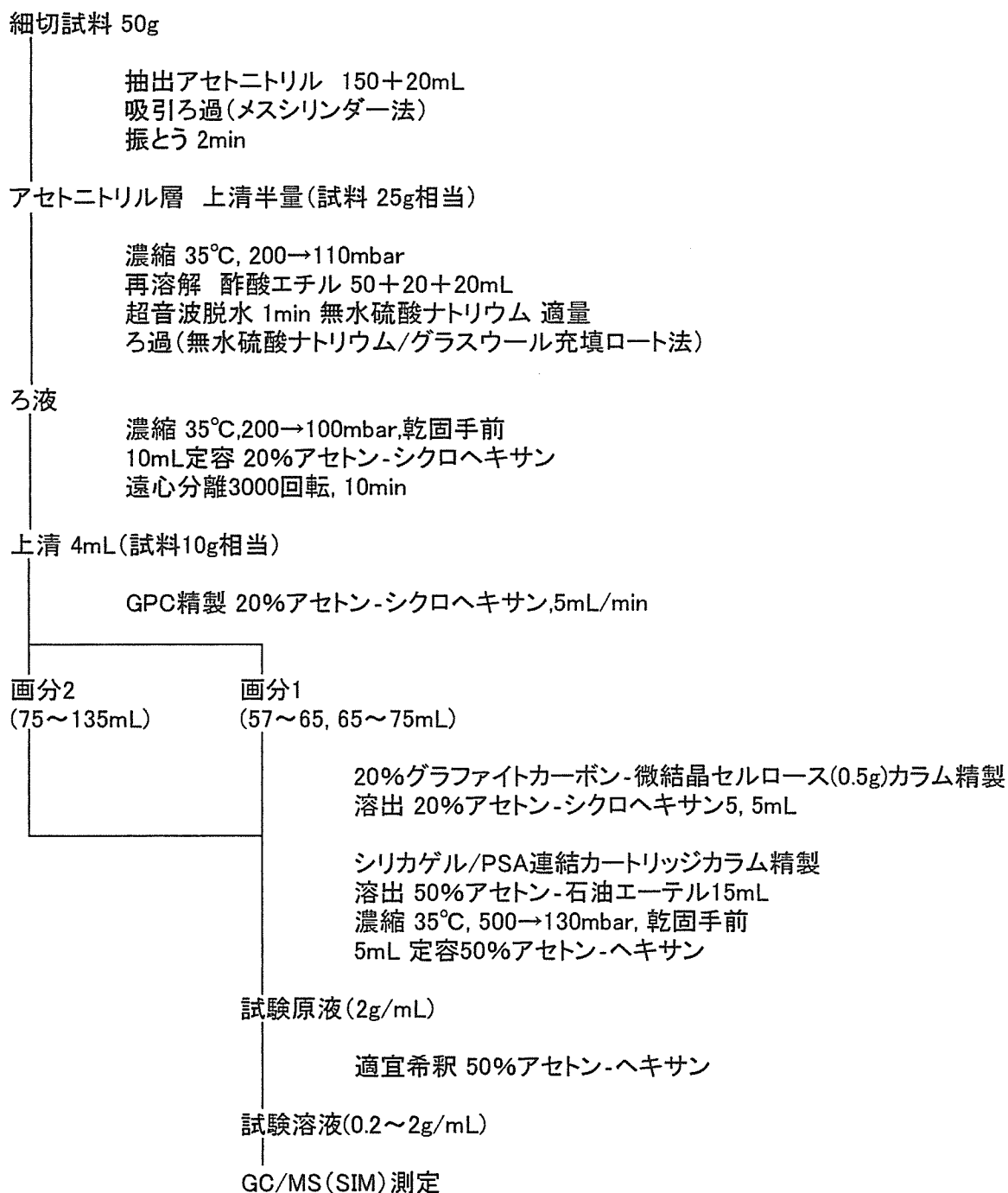
維持管理された分析機器

市販のGC/MS性能チェック用標準液を提供、検査機器の安定した状態の確認

GC/MS性能テスト (チェック用標準液:市販クライテリアサンプルmix 林純薬工業)

資料2-1 A機関 分析フロー

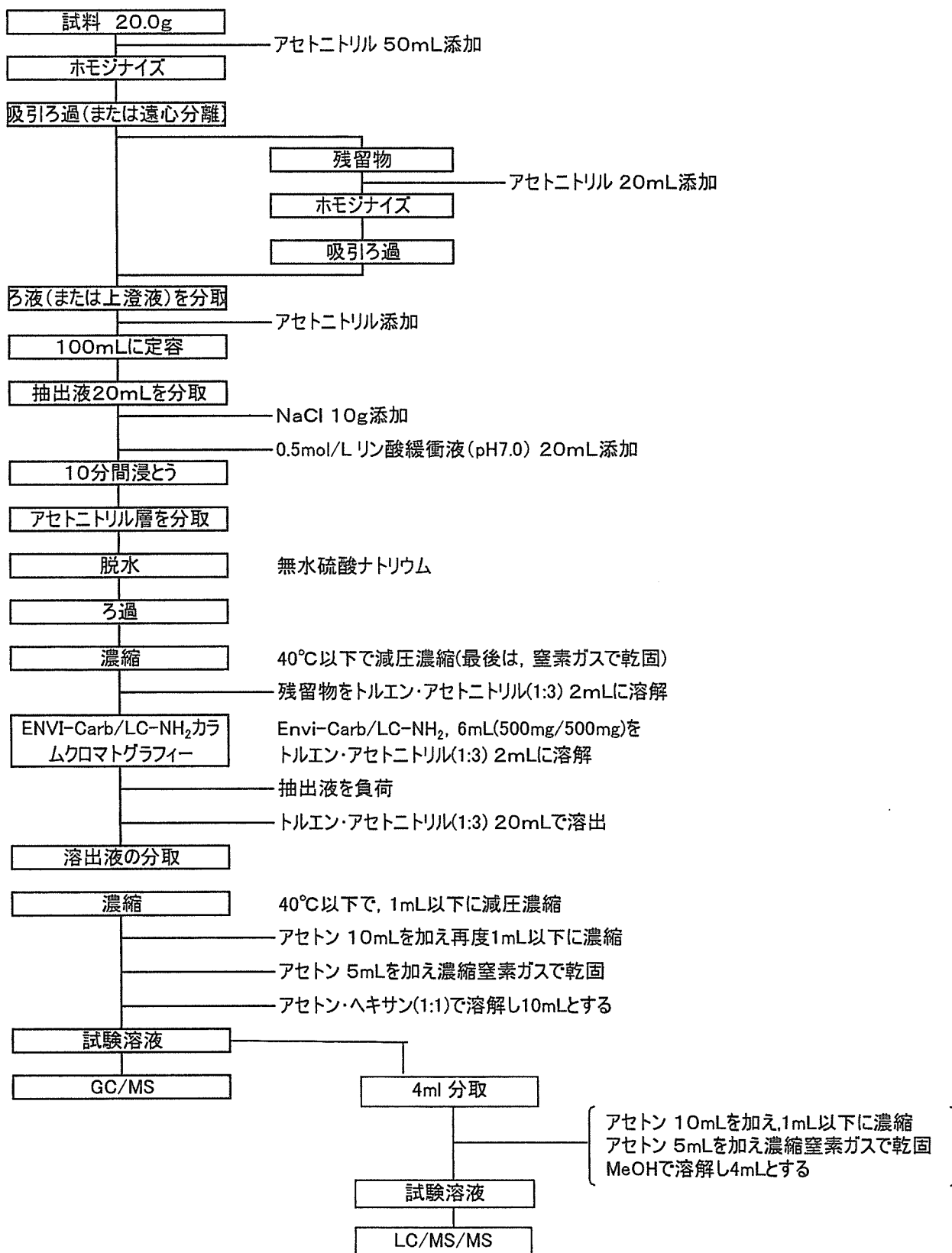




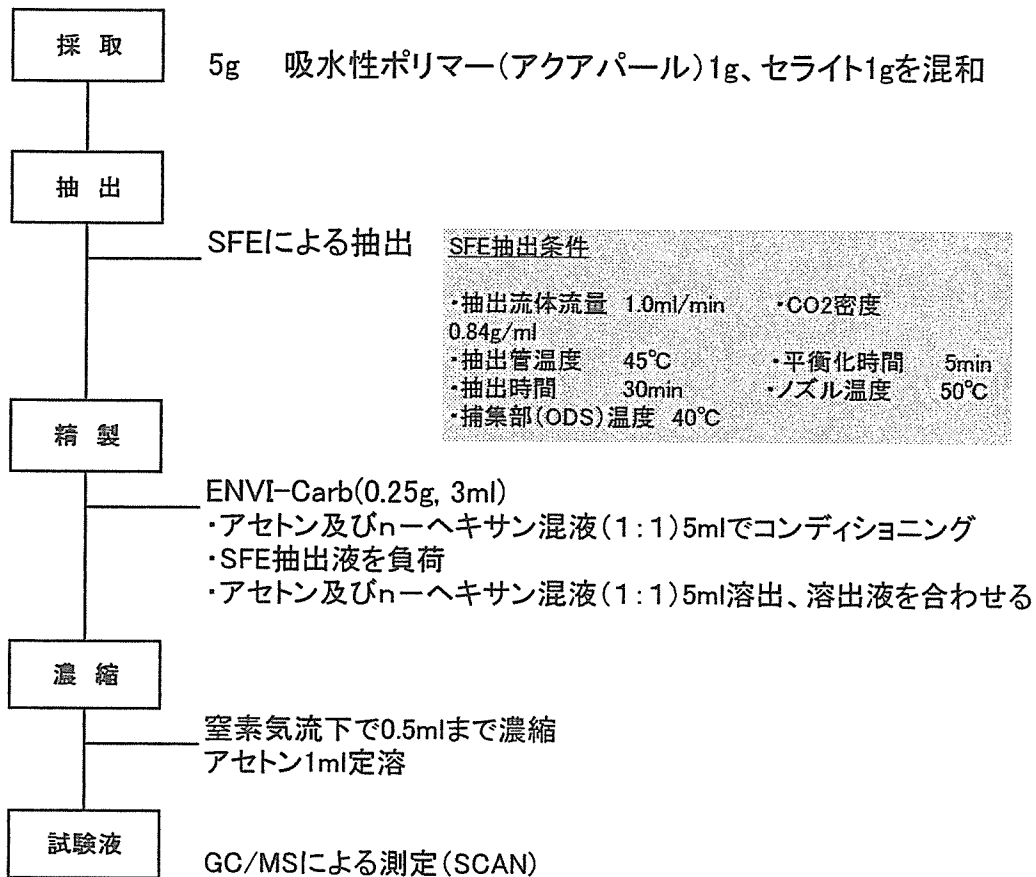
資料2-3 C機関 農作物中の残留農薬GC/MS一斉分析法

1. 抽出、精製及び定量

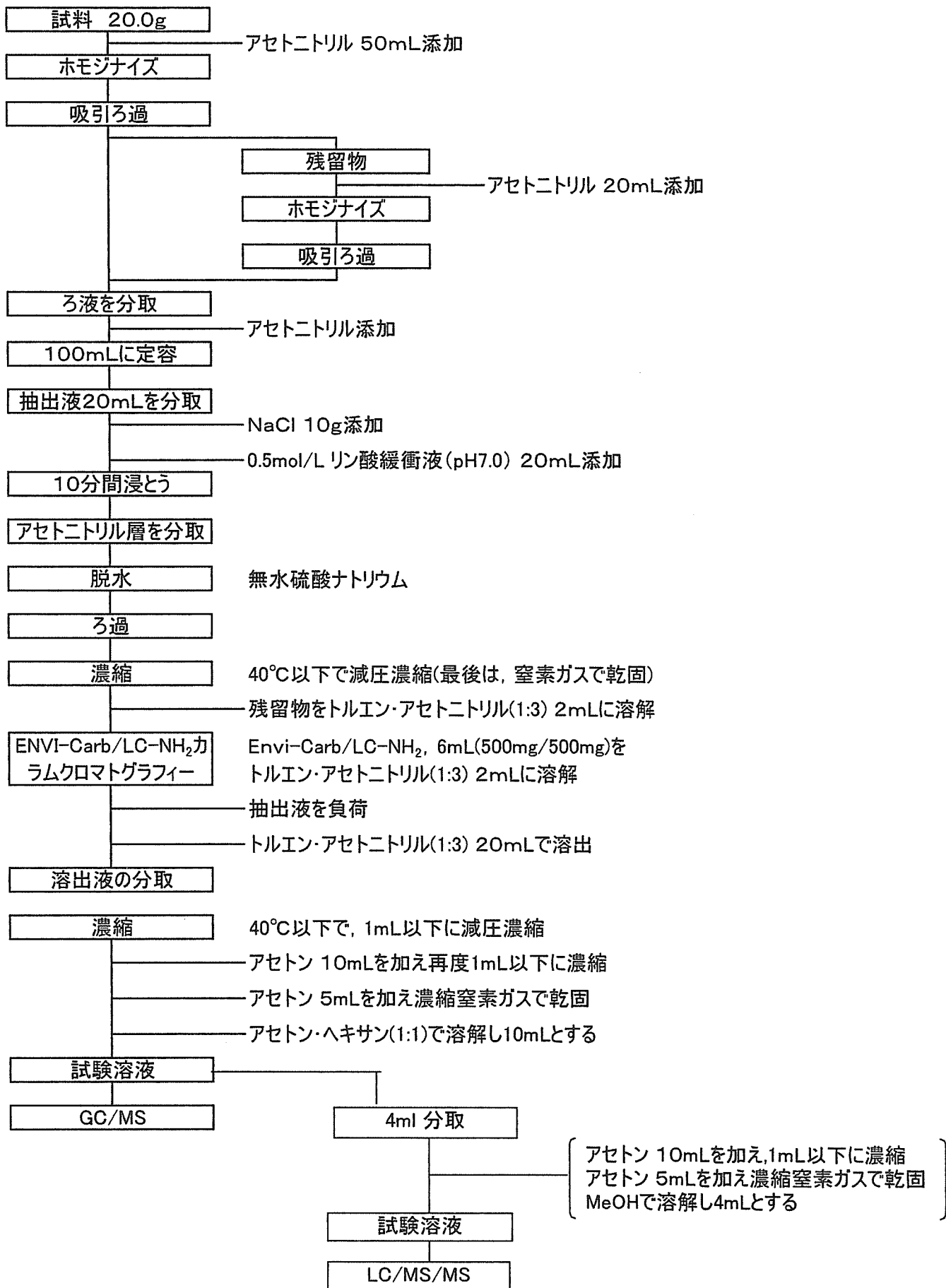
1-1. 野菜及び果実の場合

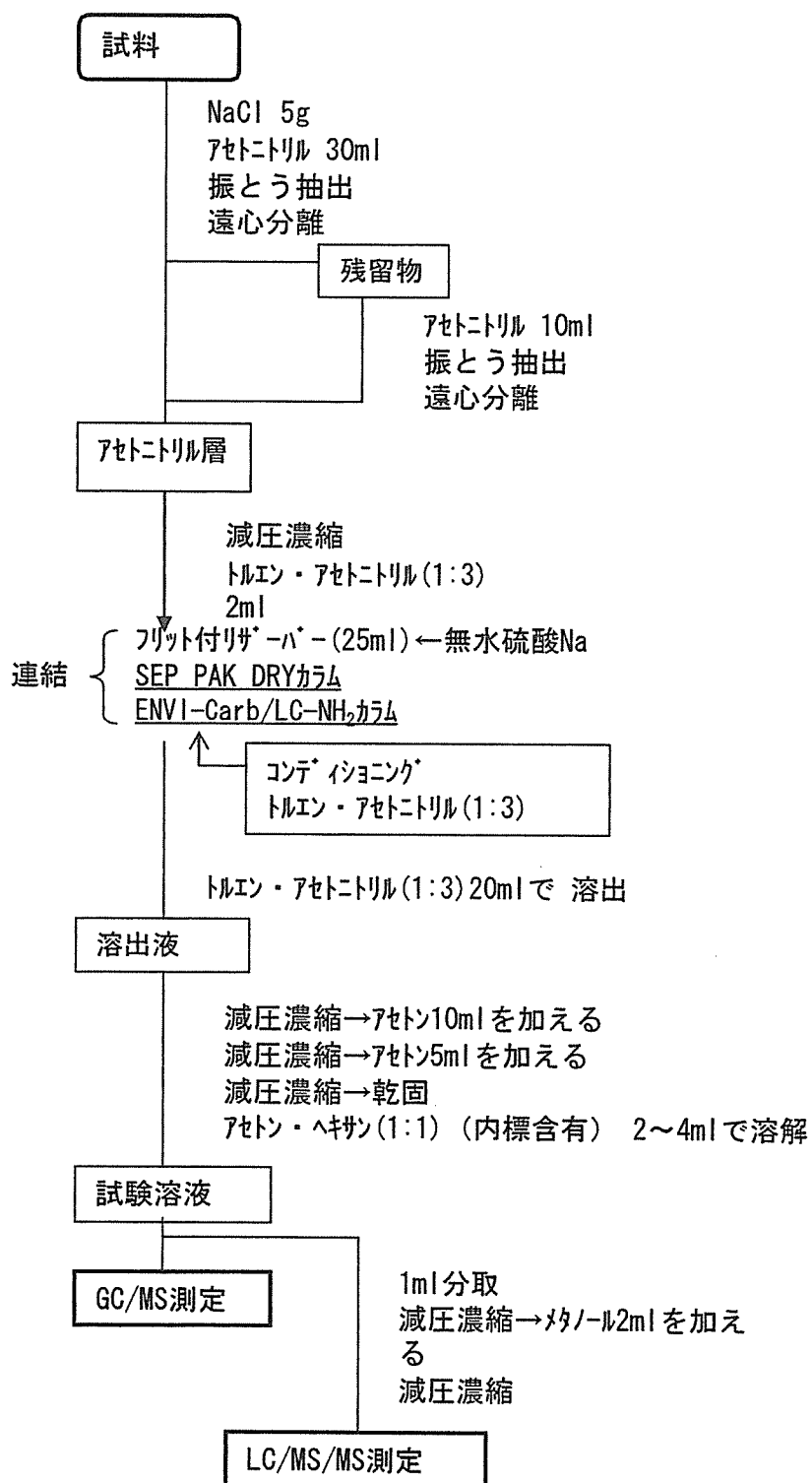


資料2-4 D機関 分析法フローシート

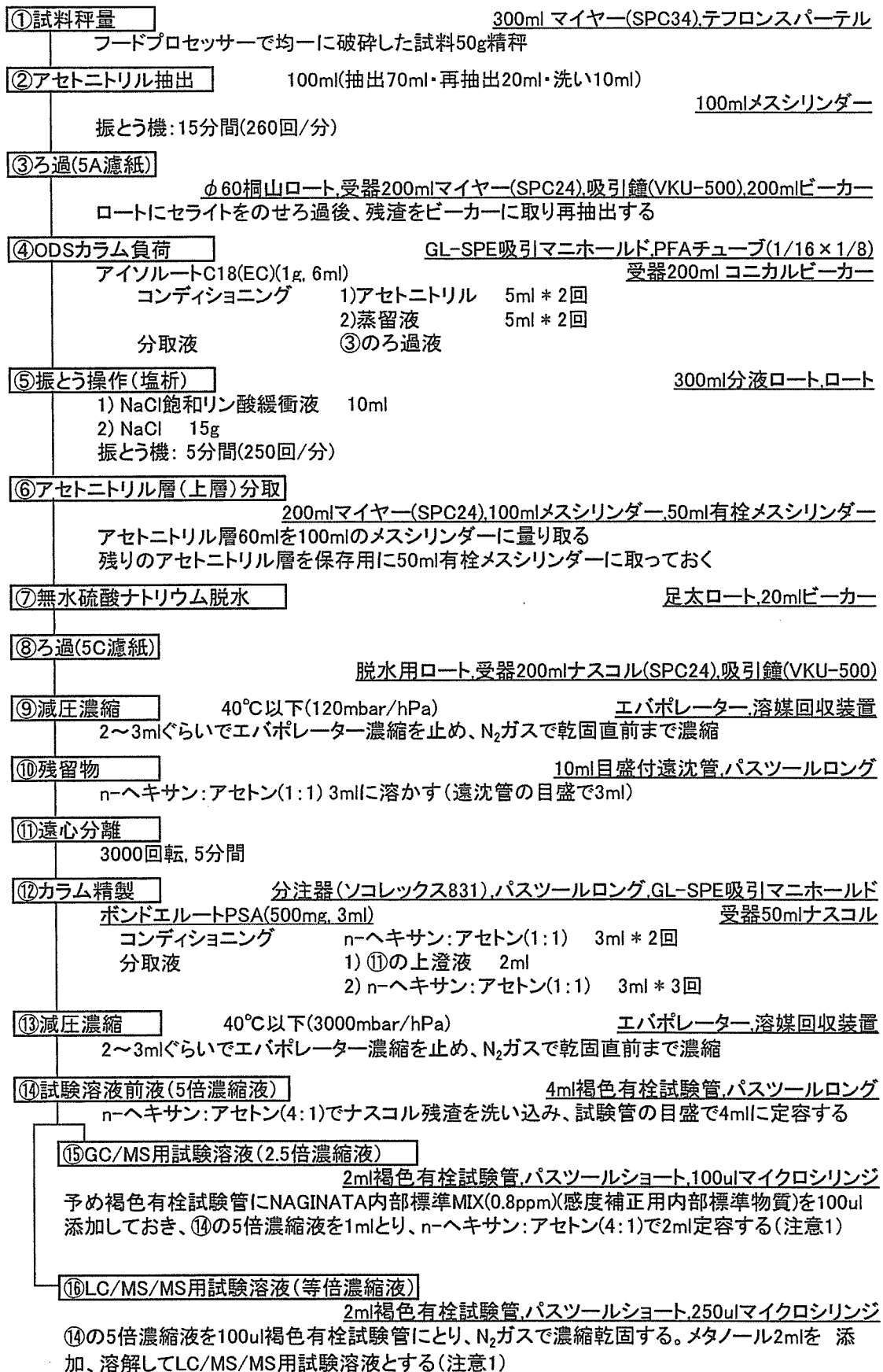


資料2-5 E機関





資料2-7 G機関 操作フロー
(かんきつ類には酢酸ナトリウムを加えること)



(注意1) 1検体分だけ仮測定・定量を行った後、⑮、⑯の調製法を決定する。